

No. **33**号

2023年7月号
(令和5年)

ひらつかの風

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちや、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1 ...センター情報
- P.2 ... 団体レポート 『NPO法人 湘南平塚きさわ里地里山ラボ』
- P.3 ...お役立ち情報
- P.4 ...センター情報・平塚市情報



ひらつか市民活動センターはおかげさまで開設20周年を迎えました。

団体レポート

『NPO法人 湘南平塚きさわ里地里山ラボ』 ～ゆるぎの里で農作業学習～



センター情報



ひらつか市民活動センター開設 20周年

ひらつか市民活動センターまつり

日時 ● 11月26日(日) 10:00～15:00 **開催日決定!!**

6月16日(金) 第1回まつり実行委員会を発足し、上記日程で開催することが決まりました。今年度は市民活動センター開設20周年を記念して大いに盛り上げていきたいと思ひます。登録団体の皆様の出展申し込みをお待ちしています!

※尚、11月は市民活動推進月間として、市民活動に関する情報発信をより強化していきます。

● ひらつか市民活動センターのホームページをぜひご活用ください!!



センター情報



助成金情報



団体イベント情報



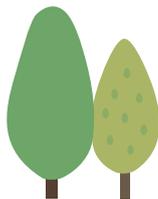
センター開催報告

団体
レポート

『NPO 法人湘南平塚きさわ里地里山ラボ』 ～ゆるぎの里で農作業学習～

平塚市西部丘陵地に位置する吉沢地区の里山エリアは「湘南ひらつか・ゆるぎ地区」と呼ばれています。古くから農地・山林・集落が一体となって地域を形成している自然豊かな場所です。

今回は、吉沢地区の里地里山の保全や地域活性化の課題に取り組む「NPO法人 湘南平塚きさわ里地里山ラボ」の農作業の様子取材させていただきました。当日は、昨年開園したばかりの農作業学習農園「ゆるぎの里山農園」で、ご家族連れやご夫婦など約30名のみなさんが草むしりや野菜の収穫、サツマイモの苗の植え付けを体験していました。



■NPO 法人立ち上げの経緯

吉沢地区における農業の担い手不足や高齢化、里山環境悪化などの地域の問題解決のために、2008(平成19)年10月「湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会」が設立されました。3年後の2011(平成22)年には市のまちづくり条例に基づいた「地区まちづくり協議会」として認定を受け、それから10年間、大学との協働によるワークショップやふるさとの風景を後世に残し育むための「吉沢八景選定プロジェクト」、市と連携した「ひらつか まちまるごと自然環境学舎」など様々な活動を行ってきました。

さらに2021(令和3)年12月には、活動をより活性化し加速させるため協議会の一部を法人化し(令和4年)、ゆるぎの丘にて市民農園「ゆるぎの里山農園」を開設し、吉沢地区の農業振興の活性化に力を注いでいます。



支柱の立て方を
教わる様子▶



草むしりが終わった場所にはサツマイモの苗を植えました。「去年もやったよ!」と、慣れた手つきの子どもたちが苗と苗の間隔を測りながら手際よく植えていました。

その後は、平塚市市民活動推進補助金を活用して購入した刈払機の講習会も行いました。地域の農協の方にご指導いただきながら、実際にエンジンをかけて草を刈りました。今までは法人スタッフが行っていた作業でしたが、参加者にやってもらうことで、より実際の農作業に近い体験ができ、本格的な農業に近付けるそうです。

■ゆるぎ地区のこれから

協議会として活動を開始してから15年が経ちました。「私たちはクライנגアルテン(滞在型市民農園)の実現を目指しています」と話す理事長の山田さん。クライנגアルテンにより将来の定住人口の確保につなげていきたいとのこと。協議会では活動を始めた当初から住まうことの重要性を説いています。

お問い合わせはこちら

NPO 法人湘南平塚きさわ里地里山ラボ

メール ● yurugi.kisawa@gmail.com

ホームページ ● <https://hiratsuka-kisawa.jimdoofree.com/>



■取材を終えて

夏野菜の収穫が始まり、子どもも大人も楽しそうでした。このような活動がさらに広がると良いなと改めて思いました。(に)



▲「ゆるぎの丘」ではウグイスの声が聞こえてきました。

■農作業体験学習

集合場所の吉沢公民館を出発し1kmほど離れた農園に向かいました。「ゆるぎの里山農園」の今年度の利用契約者は市内外から21組。昨年度契約していた10組のうち8組は継続して参加しているとのこと。東京都三鷹市から来ているご家族もいらっしゃいました。それぞれの区画では、農園運営側で計画した野菜の他に自分の好きな野菜も植えることができます。昨年度から参加している5歳の女の子は、「自分で育てた野菜は美味しい!」と嬉しそうに話してくれました。また、大人の方は「この作業の後、帰ってから飲むビールが楽しみ!」と、と笑顔で語っていました。枝豆の収穫がとて楽しみですね。

お役立ち
情報

「なんとなく」はもうやめよう! 『確実に一步踏み出す情報発信のコツ』

NPO・市民活動団体が活動を継続するためには、会員やボランティアさんの確保や寄付金・助成金の獲得と同様に“情報発信”が欠かせません。地域課題の解決に向けて取り組む活動を、自分たち自身で可視化・価値化して積極的に発信していきませんか?



POINT

1

効果的な情報発信のために

- 1 団体自身が「活動の価値」を再認識、再確認することが大切です。
- 2 誰に届けたいのか?
情報発信のターゲットが興味と価値を感じられるようにしましょう。
- 3 SNSや動画のスキルを身に付けることも必要です。



POINT

2

動画による発信を試してみませんか?

YouTubeなどの動画による情報発信が効果的であることは、今や誰もが知っていることですが、アプリ(CapCutなど)を使うと編集作業が比較的簡単にできます。また伝えたいことを声に出しながら撮影するとテロップを入れたのと同じ効果になり編集が楽になります。まずは、始めてみましょう。



POINT

3

情報発信のPDCAサイクル1.『P(Plan)計画とD(Do)実行』

自団体の情報発信において目標の設定、5W1Hにそったプランシートの作成、ターゲットに届ける言葉づくりから始めると良いでしょう。
※5W1H=「When: いつ」「Where: どこで」「Who: だれが」「What: 何を」「Why: なぜ」「How: どのように」

- 1 ターゲットの悩み・欲求などを織り込む。
- 2 5W1Hの要素をはずさない。
- 3 ターゲットが理解できるように「言語化」する。



POINT

4

情報発信のPDCAサイクル2.『C(Check)測定・分析とA(Action)改善』

Google Analytics、Facebook インサイトなどで効果測定できるので、その結果を改善につなげていきましょう。

- 1 届けたい相手(ターゲット)が見てくれているか?
- 2 発信した動画に共感性があるかどうか?
- 3 メンバーや周りの人にジャッジしてもらいましょう。



発信した情報や動画を見てくれる人の年代や属性がわかると発信の方法も変わっていきます。より多くの人々の目に触れるようになると、もう少し動画の腕を上げたいという向上心も芽生えてきますね。そうならしめたもの! 「スキルアップしたい」は、“楽しい”の裏返しでもあります。楽しく学んで楽しく発信、そして楽しく活動していきたいものです。動画を発信したらぜひセンターにもお知らせください。シェアして応援させていただきます。(さ)

センター情報

● 団体活動にお役立てください!

「助成金講座」—助成金の申請を考えている NPO・市民活動団体の皆さんへ—

助成金の申請や活用について学んでみませんか?

申請のコツ・活用の方法など事例を交えて説明します。※年賀寄付金助成金説明会同時開催

日時●9月16日(土) 14:00~16:30

ゲスト●日本郵便・年賀寄付金事務局南関東支社職員

事例紹介●子ども学習支援グループ須賀の寺子屋代表 大野文さん

対象●NPO 法人・市民活動団体、助成金の申請に関心のある方 定員●20名 参加費●無料



防災座談会

令和5年は関東大震災(1923年)から100年目を迎え、防災に対する関心が益々高まっています。センターでは昨年実施した「マンション防災」に関する講座が好評だったことから、再度マンションと戸建ての違い、平時の心構え・対策について学びます。

日時●9月30日(土) 14:00~16:30

講師●認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク代表理事 伊藤朋子さん

対象●地域防災に関心のある市民及び市民活動団体

定員●50名 先着順 参加費●無料



★上記イベントは全てひらつか市民活動センターで開催します。感染症対策にご協力をお願いいたします。

平塚市情報

『平塚市市民活動推進補助金審査会 活動報告会』を開催しました!

5月13日(土)午後2時からひらつか市民活動センターで令和4年度活動報告会を一般公開して開催しました。令和6年度の平塚市市民活動推進補助金は今年12月頃に募集する予定です。応募等のお問い合わせは平塚市協働推進課までご連絡ください。

入門コース

- 1 『自分の身は、自分で守る。自主防犯パトロール』 ウォッチドッグス
- 2 『こども食堂 ごはんだよ』 こども食堂 ごはんだよ
- 3 『農業振興事業 (農作業学習農園事業)』 NPO 法人 湘南平塚きさわ里地里山ラボ

発展コース

- 1 『ちいき・子ども食堂』 ひばり野のなかま達
- 2 『はッピー♡サロン』 NPO法人 しえんのまなび舎
- 3 『0歳からの親子コンサートによる子どもの発達支援事業』 あいあいリトミック
- 4 『ママぎゅっと「ひらつかママ子育てレポート」』 ママぎゅっと

◆ 補助金報告書はこちらから ◆ https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00016.html



編集後記

ひらつか市民活動センターまつり実行委員会が発足し、いよいよ本格的におまつり開催に向けて動き出しました。今年は市民活動センター開設20周年の記念すべき年、団体の皆さんと一緒に改めて市民活動団体の果たす役割や課題、期待されていることなどについて語り合っていきたいと思います。(さ)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00~22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町 1-8

TEL ● 0463-31-7571 FAX ● 0463-35-6601

Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net

URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>



センターのマスコット たすけくとあいちゃん

センター登録団体数 (2023年6月15日現在)

登録団体数 ● 448 団体

(内訳 市民活動団体…316 団体、一般団体…132 団体)

